

開催済

京都フィナンシャルグループ

中小企業のための

サステナビリティ経営
実践セミナー

～2030年を見据えた視点から～

【開催日時】

2024年
3月26日(火)
14:00～16:30参加費無料
※事前申込制

ローム・SCREENホールディングス・島津製作所の事例紹介を通じて、
京都フィナンシャルグループから中小企業の皆様に、
「これからのサステナビリティ活動」についてお伝えします。

【開催方法】

会場参加もしくはWEB参加をご選択いただけます。
(会場：先着70名様、WEB：先着150名様)

- 会場：京都経済センター 6階(6-C)
京都市下京区四条通室町東入函谷餅町78番地
- WEB：ZOOMウェビナー



—講演内容—

バリューチェーンで取り組む サステナビリティ経営	PFAS(有機フッ素化合物) 規制の動向 ～永遠の化学物質の利点と課題～	サステナブルな調達に向けて ～パートナーと共に取り組む 社会課題解決～	京都フィナンシャルグループが 提供する サステナブル関連サービスについて	サステナビリティ経営 ～2030年を見据えた視点から～ 4社による パネルディスカッション 質疑応答
ローム株式会社	株式会社SCREENホールディングス	株式会社島津製作所	株式会社 京都総研コンサルティング	

【申込方法】 下記URLもしくは右記申込フォームよりお申込みください。

<https://forms.office.com/r/tjhcK1NwV3>

※WEB参加をご希望の方には、別途Zoom会議のご案内をさせていただきます。
※定員になり次第、期限前でもお申し込みを締め切らせていただきます。

【お申込締切日】
3/19(火)

主催／株式会社 京都フィナンシャルグループ
協力／ローム株式会社 株式会社SCREENホールディングス 株式会社島津製作所 株式会社 京都総研コンサルティング
事務局／京都フィナンシャルグループ サステナビリティ経営統括部(佐藤、猪熊、平井)
TEL: 075-361-2292



会場：京都経済センター6階(6-C) 京都市営地下鉄丸太線「四条駅」北改札出ですぐ／阪急電車京都線「丸太駅」26番出口直結／京都市バス「四条丸太」徒歩すぐ



SCREEN

SHIMADZU
Excellence in Science

京都総研コンサルティング

▲セミナーチラシ

持続可能な社会の実現に向けた取り組み
—京都企業との「中小企業のためのサステナビリティ経営実践セミナー」の開催—

今回は京都フィナンシャルグループの持続可能な社会の実現に向けた地域企業と連携した取り組みをご紹介します。

—京都企業との連携の実績

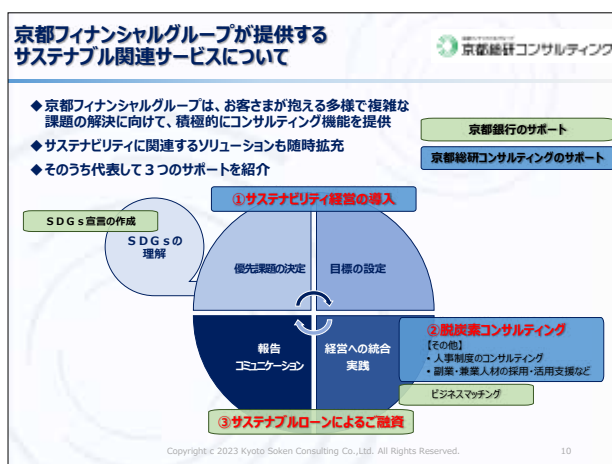
京都フィナンシャルグループでは、持続可能な社会の実現に向けて京都の上場企業2社と包括連携協定を締結しています。

【2021年12月】

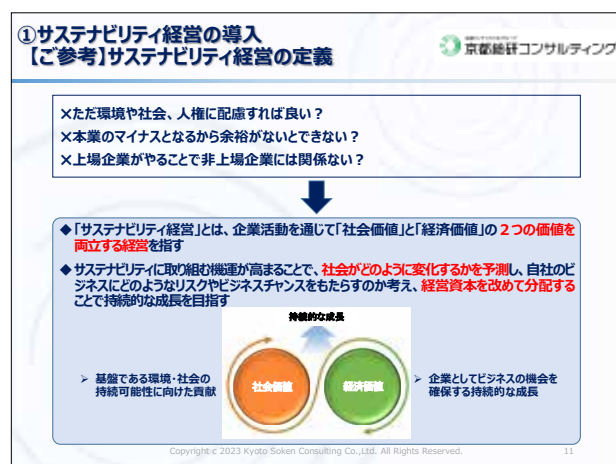
株式会社島津製作所との協定締結

両社が積み重ねてきた協力関係をさらに強化・発展させるとともに、SDGsがターゲットとする2030年のさらに先を見据えた継続的な連携により、両社の経営資源を有効に活用し、事業活動を通じて地域の持続的な成長・活性化や環境負荷軽減などのSDGs達成を含む持続可能な社会の実現に貢献を図ることを目的とし

京都銀行



▲弊社の説明資料(一部抜粋)



て協定を結びました。

「2023年11月」 株式会社SCREENホールディングス との協定締結

持続可能な社会の実現には、環境や人権の問題、それを守るガバナンスの強化に向けた取り組みを、各企業単独でなくサプライチェーン全体へと広げていくことが重要になります。この連携により両社が持つ知見を生かし、社会課題の解決に向けた取り組みをサプライチェーン全体に広げることを目的として協定を結びました。

セミナー取り組みの背景

昨今、環境への対応をはじめとしたサステナビリティ関連の取り組みは、大手企業のみならず中小企業においても経営課題として急速に重要度・優先度が増しています。しかし、サステナビリティ関連の取り組みについてどこから進めるべきかお悩みの声を取り先からいただくことも増えています。このような状況に対し、ローム株式会社、株式会社SCREENホールディングス、株式会社

島津製作所の事例紹介を通じたセミナーを開催することになりました。

セミナー当日の様子

今回のセミナーでは会場とWebによるライブ配信のハイブリット形式で開催し、およそ120名の参加申込がありました。当日は中小企業のみならず、大企業や自治体関係者、大学関係者等にご参加いただきました。登壇した4社の講演内容は下記の通りとなっております。

1. ローム株式会社
「バリューチェーンで取り組むサステナビリティ経営」
2. 株式会社SCREENホールディングス
「PFAS(有機フッ素化合物)規制の動向、永遠の化学物質の利点と課題」
3. 株式会社島津製作所
「サステナブルな調達に向けて、パートナーと共に取り組む社会課題解決」
4. 株式会社京都総研コンサルティング
「京都フィナンシャルグループが提供するサステナブル関連サービスについて」

各社の講演後にはパネルディスカッションや質疑応答を実施しました。

セミナー終了後、①満足度、②わかりやすさ、③今後もこのようなセミナーに参加したいかの3項目について5段階評価でのアンケートを実施しました。

その結果、すべての項目において5段階中4以上の評価が95%以上であり、満足度の高い結果となりました。参加者からは次回開催への要望・期待についての意見も寄せられており、関心度の高さがうかがえました。

まとめ

SDGsやカーボンニュートラルが社会の共通目標として定着しつつある中、地域金融機関の役割は、中小企業を含めた地域企業にSDGsや脱炭素の取り組みを広げていくことであると考えます。そこで重要となるのが、どのようにしてサプライチェーン全体での取り組みとして裾野を広げていくかということです。

弊社では、取引先の「ありたい姿」や「あるべき姿」などを一緒に考え、SDGs・サステナビリ

ティをキーワードとした経営方針策定をサポートする「サステナビリティ経営サポート」の支援や副業・兼業プロ人材の活用によりSDGsの経営課題を解決する「京銀SDGs実行サポート」、脱炭素に関する現状把握(CO₂排出量の算定)や省エネ診断、中小企業版SBT申請支援等を行う「脱炭素コンサルティング」といったサービスを展開し、地域企業の持続可能な取り組みをサポートさせていただきます。

京都フィナンシャルグループでは、「地域社会の繁栄に奉仕する」地域の成長を牽引し、ともに未来を創造する」との経営理念のもと、地域の社会的課題や環境問題の解決に取り組むことにより長期持続的な企業価値向上に努め、地域社会の持続的発展に貢献していくことをサステナビリティ経営方針として定めております。今回の取り組みのように京都を地元とする企業同士が地域活性化という共通テーマで連携することで、なお一層関係が深まるとともに、異業種間でのパートナーシップによって、双方が新たな事業展開を図ることができると大きな期待を抱いています。

(文責 株式会社京都総研コンサルティング)



▲パネルディスカッション・質疑応答の様子



▲セミナーの様子

日本全国 県境・地域を越えた 「様々なビジネスニーズ」にお応えします！

このようなビジネスシーンでお困りではありませんか？



全国の地銀9行連携 「地域再生・活性化ネットワーク」について

経営基盤・営業エリアが異なる地銀9行が、様々な情報・ネットワークを相互に活用することで、地域経済の再生および活性化を図るために構築した広域連携です。

県境・地域を超えて活躍する(今後検討される)お客さまのビジネスニーズ等に対して、全国の各エリアをカバーする地域金融機関が連携・協力して対応していきます。

- ① 複数の地方銀行による資金供給(シンジケートローン・協調融資等)
- ② 他エリアの地方銀行のネットワーク情報を活用して、M&Aや事業承継における相手方情報をご提供
- ③ ビジネスマッチング業務にかかる他エリアの地方銀行のお取引先等をご紹介します



- 【注意事項】
- 本ネットワークは、協定書を締結した地方銀行9行の連携・協力に基づき運営されています。ご利用にあたり、お客さまのご要望・ニーズなど、必ずしもご期待にそえない場合がありますのでご了承ください。(個別具体的なソリューションのご提供を確約するものではありません。)
 - 本ネットワークのご利用を希望される場合は、お近くの取引銀行窓口までお気軽にご相談ください。(ご相談は無料です、但し、個別具体的なソリューションのご提供にあたっては、各銀行所定の手数料等がかかる場合があります。)